

第2章 かつらぎ町の自殺の現状

1. 統計データから見るかつらぎ町の自殺の現状

(1) 自殺者数の推移

かつらぎ町の自殺者数は、平成26年から平成30年の5年間で、厚生労働省の人口動態統計では平均3.0人。警察庁の自殺統計では住居地で平均3.4人、発見地で平均4.4人と、統計調査を行う機関の特性により差異はありますが、平均5人以内で推移しています。

又、町外の方がかつらぎ町内において自殺し発見されるという事例も発生しています。

自殺者数の統計は2種類あり、1つは厚生労働省作成の「人口動態統計」。もう1つは警察庁作成の「自殺統計」があります。

人口動態統計（厚生労働省）とは、

- ・日本における日本人のみの自殺者数
- ・自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明のときは原因不明の死亡等で処理しており、後日原因が判明し死亡診断書等の作成者から自殺の旨訂正報告があった場合には遡って計上
- ・住所地に計上

人口動態統計	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全 国	24,417人	23,152人	21,017人	20,465人	20,031人
和歌山県	168人	184人	206人	179人	197人
かつらぎ町	4人	4人	1人	4人	2人

自殺統計（警察庁）とは、

- ・日本における日本人及び日本における外国人の自殺者数
- ・捜査等により、自殺であると判明した時点で自殺統計原票を作成し計上
- ・「住居地」は自殺者の住居があった場所で計上
「発見地」は自殺死体が発見された場所で計上

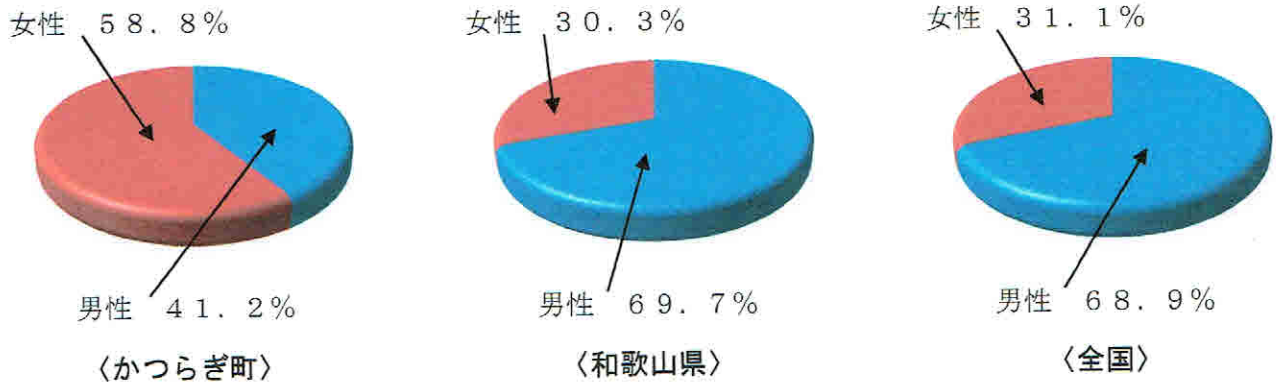
自殺統計	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全 国	25,218人	23,806人	21,703人	21,127人	20,668人
和歌山県					
住居地	186人	190人	227人	180人	196人
発見地	199人	203人	236人	197人	207人
かつらぎ町					
住居地	3人	5人	1人	5人	3人
発見地	4人	7人	2人	7人	2人

本計画では、警察庁の自殺統計（住居地）を基本数値とし以降の記載を行います。

(2) 男女・年齢別自殺者

平成26年から平成30年までのかつらぎ町における自殺者について、年齢階級別で見ると、20歳代と70歳代が最も多く、次いで40歳代、80歳以上となっています。性別で見ると20歳代女性と80歳以上の女性が多くなっています。

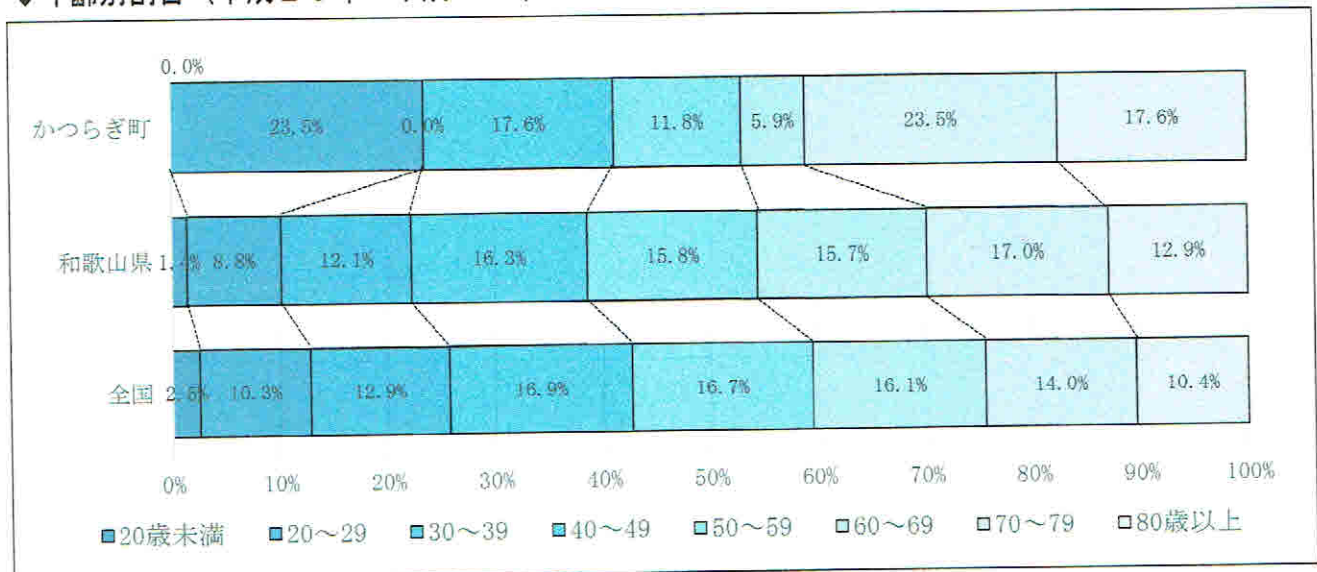
◆性別割合（平成26年度～平成30年）



◆性別・年齢別集計（平成26年～平成30年）

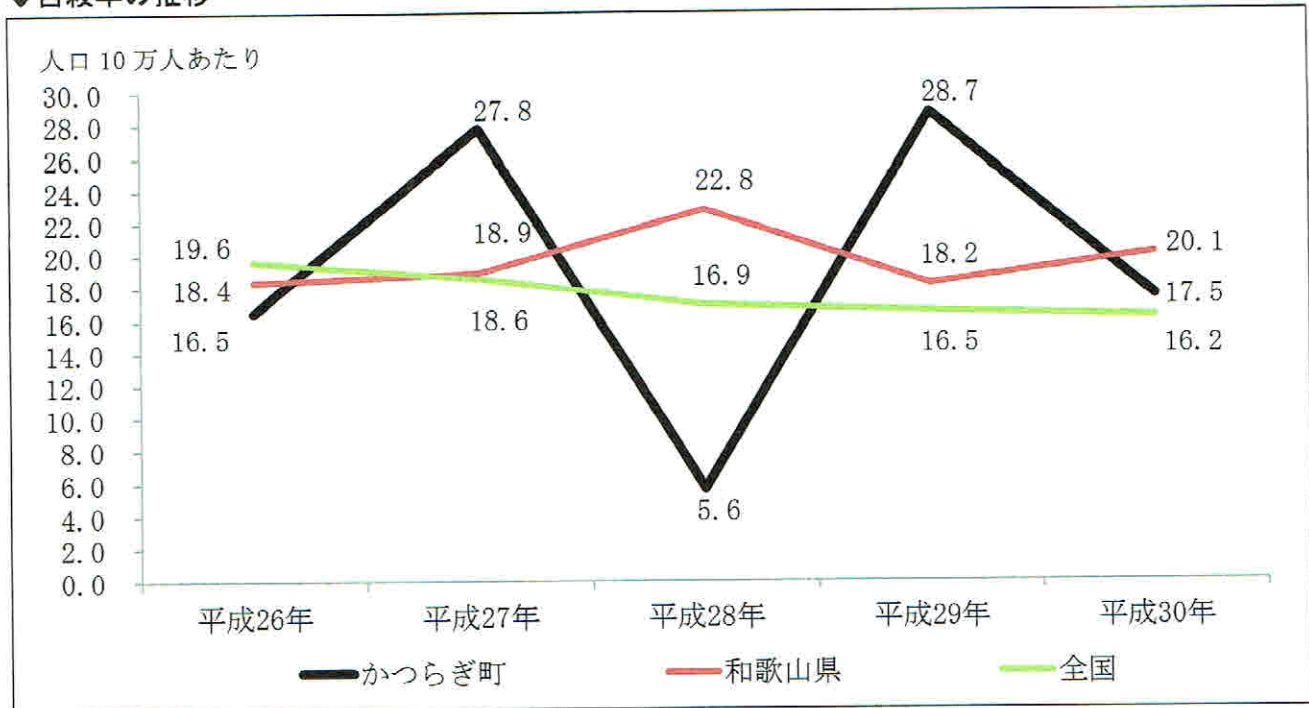
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
男性	0人	1人	0人	2人	1人	1人	2人	0人	7人
女性	0人	3人	0人	1人	1人	0人	2人	3人	10人
合計	0人	4人	0人	3人	2人	1人	4人	3人	17人

◆年齢別割合（平成26年～平成30年）



◆自殺率の推移

(単位：人)



(3) その他資料

◆60歳以上同居人有無の割合 (平成26年～平成30年)

性別	年齢階級	かつらぎ町		和歌山県		全国	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60歳代	12.5%	0%	16.1%	8.5%	16.4%	10.8%
	70歳代	25.0%	0%	17.5%	7.0%	15.0%	6.7%
	80歳以上	0.0%	0%	12.1%	3.6%	10.7%	4.0%
女性	60歳代	0.0%	0%	7.0%	2.9%	9.4%	3.1%
	70歳代	25.0%	0%	8.5%	4.3%	9.0%	3.9%
	80歳以上	37.5%	0%	7.4%	5.2%	7.4%	3.6%
合計		100%		100%		100%	

◆職業・同別居別割合（平成26年～平成30年）

性別	年齢階級	職業	同独居	かつらぎ町		和歌山県 割合	全国 割合
				人数	割合		
男性	20～39歳	有職	同居	0人	0.0%	7.9%	6.2%
			独居	0人	0.0%	3.0%	3.6%
		無職	同居	1人	5.9%	4.0%	4.6%
			独居	0人	0.0%	0.8%	2.2%
	40～59歳	有職	同居	2人	11.8%	11.0%	10.3%
			独居	0人	0.0%	4.3%	4.1%
		無職	同居	1人	5.9%	4.6%	5.0%
			独居	0人	0.0%	3.6%	4.3%
	60歳以上	有職	同居	2人	11.8%	6.5%	4.4%
			独居	0人	0.0%	1.1%	1.5%
		無職	同居	1人	5.9%	14.3%	12.6%
			独居	0人	0.0%	7.5%	7.0%
女性	20～39歳	有職	同居	1人	5.9%	1.7%	1.6%
			独居	0人	0.0%	0.3%	0.7%
		無職	同居	1人	5.9%	2.5%	3.1%
			独居	1人	5.9%	0.4%	0.8%
	40～59歳	有職	同居	0人	0.0%	2.2%	2.1%
			独居	0人	0.0%	0.3%	0.5%
		無職	同居	2人	11.8%	4.7%	5.2%
			独居	0人	0.0%	1.2%	1.4%
	60歳以上	有職	同居	0人	0.0%	1.0%	0.8%
			独居	0人	0.0%	0.4%	0.2%
		無職	同居	5人	29.4%	9.4%	9.6%
			独居	0人	0.0%	5.2%	4.0%
				17人	100%	100%	100%

◆主な自殺の特徴（平成26年～平成30年）

上位5区分	自殺者数	背景にある主な自殺の危機経路
女性60歳以上 無職同居	5人	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
女性40～59歳 無職同居	2人	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
男性60歳以上 有職同居	2人	【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ病→自殺 【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ病→自殺
男性40～59歳 有職同居	2人	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ病→自殺
女性20～39歳 無職独居	1人	【30代その他無職】失業→生活苦+うつ病孤立→自殺

2. かつらぎ町における自殺の特徴

かつらぎ町の過去5年間（平成26年～30年）の自殺者数は17人で、性別では男性7人、女性10人となっています。

人口10万人当たりの自殺率は、過去5年の平均は19.2で、県の平均19.7は下回っているものの、国の平均17.6は上回っている状態です。

各年で見れば平成26年、平成28年は共に国・県の平均を下回りましたが、平成27年、平成29年は共に県・国の平均を上回るなど年によって自殺率は大きく変動しています。

全体的に職業や世帯状況を見ると、職業は無職、世帯状況は同居が多い状況です。

年齢・性別で見ると20歳代の女性及び80歳以上の女性が各3人と最も多く、過去5年の自殺者全体の約35%を占めています。

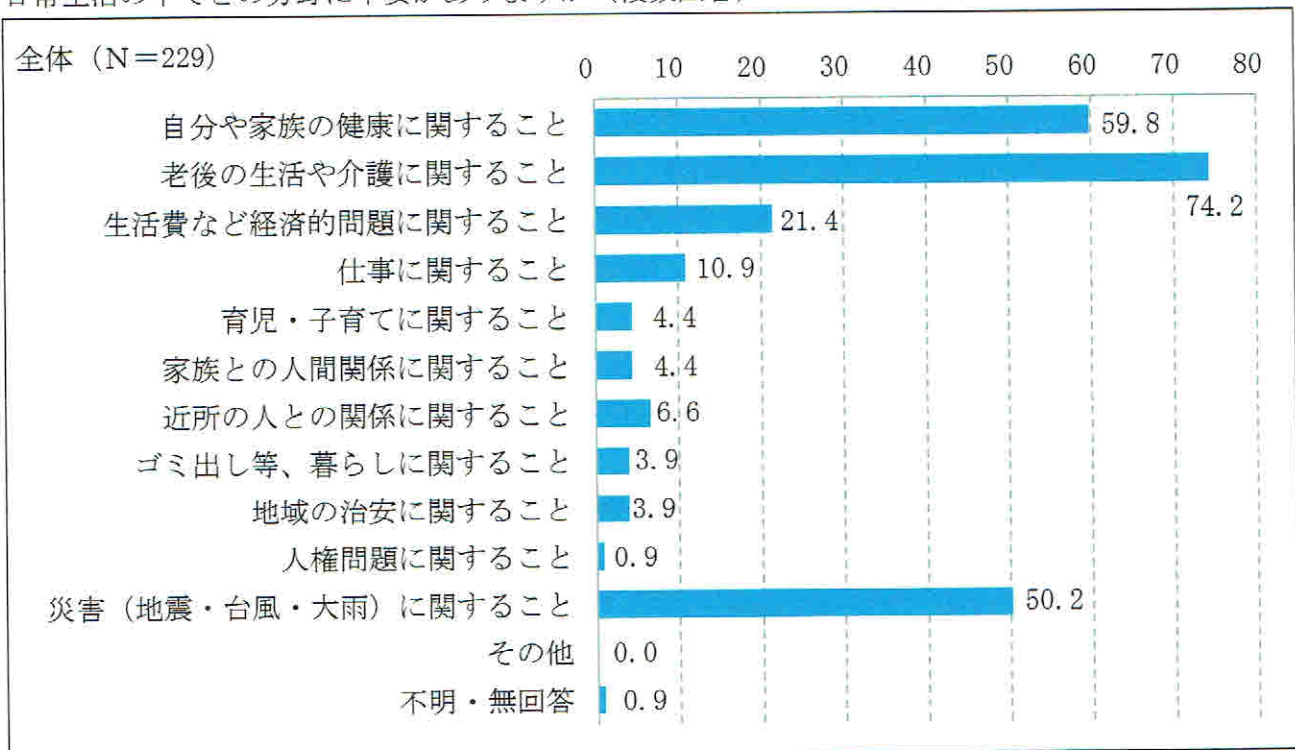
全国的には、60歳以上の女性の自殺の背景にある主な危機経路は、身体疾患から病苦になりうつ状態となって自殺に至る傾向が多く見受けられます。

自殺に至る原因や動機については、様々な要因があり複合的に絡み合っています。

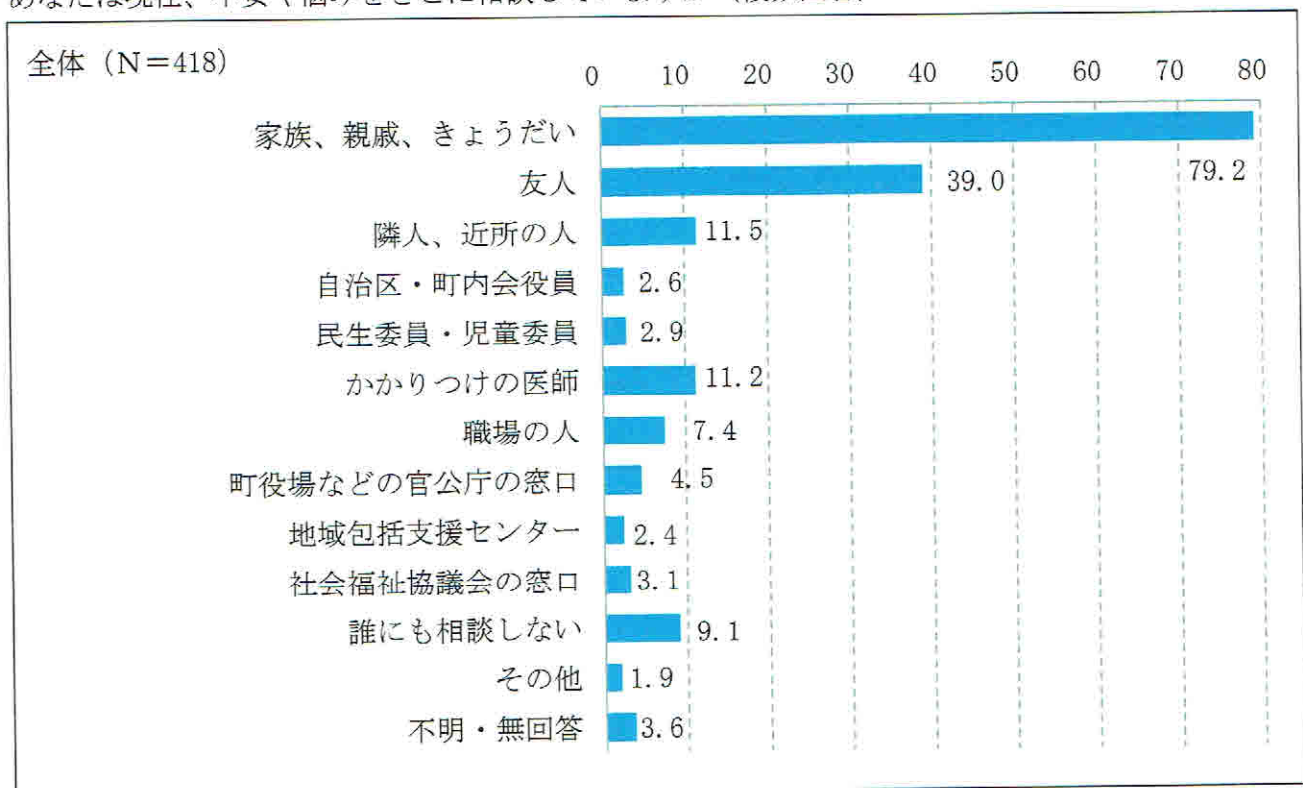
3. 地域福祉に関する住民アンケート調査

※平成30年地域福祉計画策定に伴う住民アンケートより抜粋

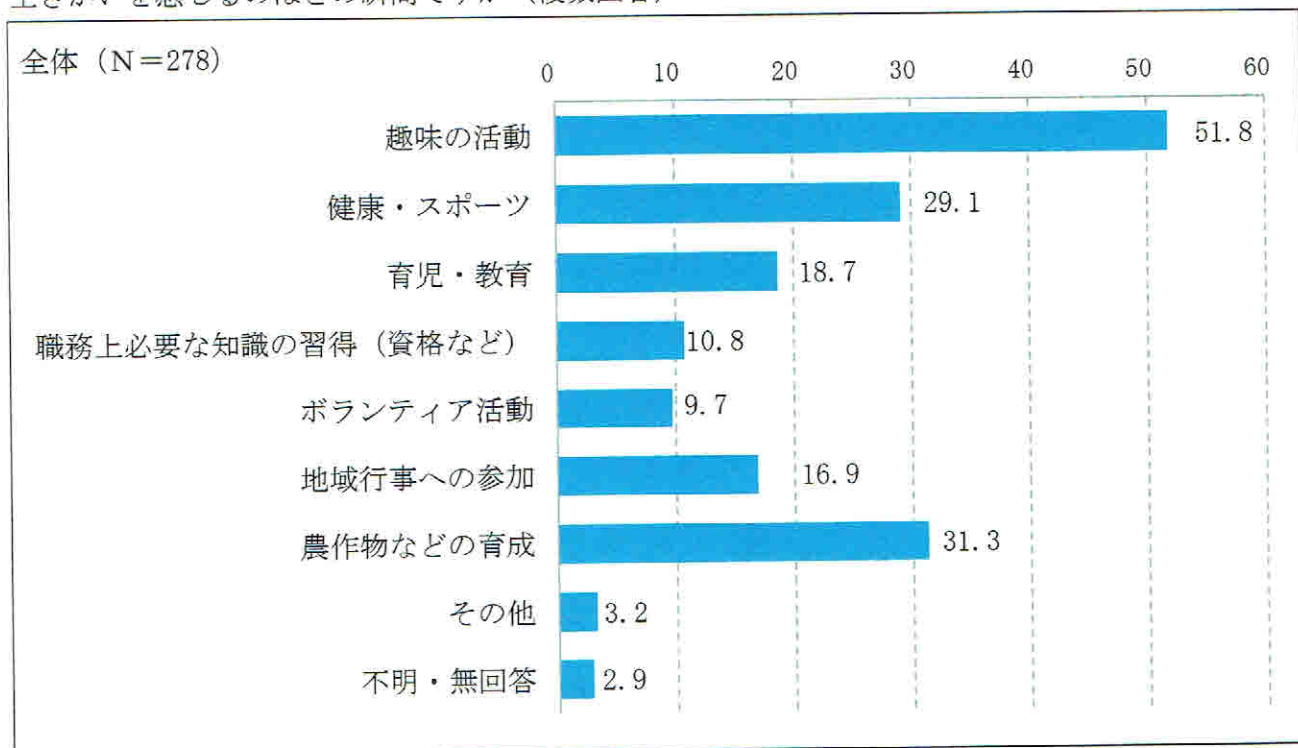
日常生活の中でどの分野に不安がありますか（複数回答）



あなたは現在、不安や悩みをどこに相談していますか（複数回答）



生きがいを感じるのはどの瞬間ですか（複数回答）



生きがいを感じない理由は何ですか（複数回答）

